

笑顔いっぱい・幸せいっぱい 森山っ子だより

令和5年7月13日(木) No.4

第1回全校特別活動

「なかよしタイム」

10日(月)1校時、全校児童と全教職員で、特別活動の研究授業を行いました。子どもたちは、始めは不安な表情を見せていましたが、内容を理解すると、すぐに意欲的に笑顔で活動に取り組んでいました。

第1回「なかよしタイム」の様子

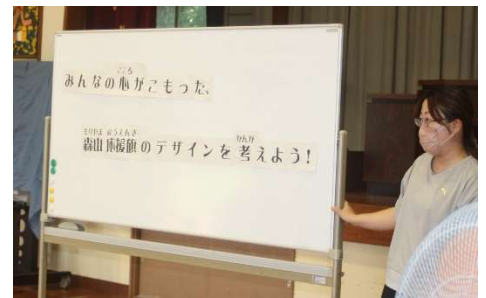
①アイスブレイク

バランスゲーム



②先生の話

めあて・グループ分け



③自己紹介

学年・名前・朝ご飯🍳



④オセロゲーム



オセロ作戦タイム



5 グループ名を考えよう



6 旗のデザインを考えよう



7 ふりかえり



7月10日(月)第1回特別活動を終え、全児童が帰宅してから授業研究を行った。

・初めての活動ということで、何をするのか分からず不安だったり、児童の表情が硬かったりした。そのため、月曜日の1校時ではなく、水曜日の3校時であれば児童も落ち着いて参加できるのではないか。

・プログラム②番の先生の話で、めあてだけでなく、1時間の活動の見通しを明確にするためのプログラム表を準備すると児童も不安なく参加できるのではないか。また、話し合いがメインになったため、めあての「デザインを考えよう。」の際、デザインの見本を見せたのち、見通しを伝えると良かったのではないか。

・プログラム③番の自己紹介では、プログラム①番から教師が自己紹介の見本を見せたのち開始すれば、全児童が活動方法を理解できるのではないか。

・初めての特別活動をとおして、子供たちの表情が明るかった。高学年は、低学年の面倒を見る姿も見られてよかった。

・せっかくのグループ活動をこれで終わりにするのではなく、様々な場面でグループで活動できる場を増やしていきたい。

・第2回特別活動(2学期)は、ねらいをしっかりと決め、子供自身が自分の良さに気づける内容にする。

・指導案は、1学期と同じように①番にアイスブレイクを入れて体を動かして和ませる。グループ活動を取り入れる。また、家庭に子供の良さを書いてもらうなどの協力依頼をすることも視野に入れておく。

◎ 子供たち同士が仲間意識を高められるような、話すきっかけを教師が作ることができるが良い。